

平成 23 年の機械貿易動向について

1. 全商品貿易動向～輸出は 2 年ぶりにマイナス、貿易収支は大幅赤字～

・平成 23 年(1-12 月)の全商品輸出額は、対前年比(以下同じ)2.7%減の 65 兆 5,551 億円と前年伸び率の大幅プラス(24.4%増)から一転、マイナス成長となった。これは、全商品輸出額の約 18%を占める半導体電子部品等電気機器(8.3%減)、約 21%の乗用車等輸送用機器(8.0%減)が大幅に減少したことによる。

一方、全商品輸入額は、12.2%増の 68 兆 242 億円と前年(18.0%増)から伸び率が鈍化したものの 2 年連続で 2 ケタの増加となった。これは、輸入額の 32%を占める原油、石油、液化天然ガス等鉱物性燃料(25.2%増)、約 9%の化学製品(13.2%増)、約 9%の鉄鋼等原料別製品(12.8%増)、約 9%の食料品(12.4%増)に牽引されたことによる。

・この結果、平成 23 年の貿易収支は、輸入額が輸出額を上回り、マイナス 2 兆 4,690 億円と 31 年ぶりに貿易赤字となった。

図表 1. 全商品・機械貿易動向(年)

		円建(億円)				ドル建(百万ドル)				対H19年 (円建)比
		平成22年	伸び率	平成23年	伸び率	平成22年	伸び率	平成23年	伸び率	
輸出	全商品	674,054	24.4	655,551	▲ 2.7	767,077	32.0	820,902	7.0	0.78
	機械	440,101	27.4	423,110	▲ 3.9	500,939	35.2	530,070	5.8	0.73
	シェア	65%		65%						
輸入	全商品	606,057	18.0	680,242	12.2	689,633	25.2	851,996	23.5	0.93
	機械	159,343	18.3	160,808	0.9	181,415	25.6	201,407	11.0	0.80
	シェア	26%		24%						
収支	全商品	67,996	141.4	-24,690	▲ 136.3	77,445	157.7	-31,093	▲ 140.1	-0.23
	機械	280,758	33.2	262,301	▲ 6.5	319,524	41.3	328,663	2.9	0.70
	シェア	4.1倍								

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は大震災、円高等の影響で 2 年ぶりにマイナス、輸入は 2 年連続プラス

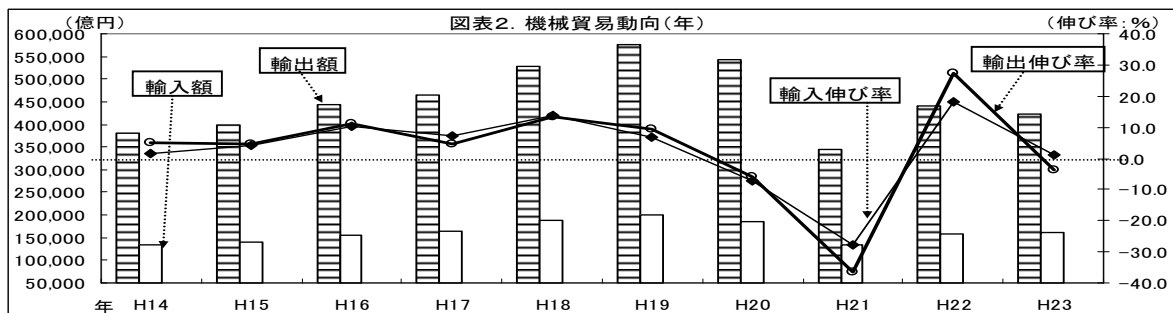
・全商品輸出額の 65%を占める機械輸出額は、好調であった昨年(27.4%増)から一転 3.9%減の 42 兆 3,110 億円と 2 年ぶりにマイナスとなった。これは、東日本大震災やタイの洪水による生産停滞、超円高等の影響で輸出が減少したことによるものである。この間、為替は、対ドルで前年比 9.3%、対ユーロで 5.3%の円高となり、円建輸出額を約 5%縮小させる要因となった。

この結果、平成 23 年の機械輸出額をリーマンショック以前の平成 19 年の輸出額と比較すると 73%の水準である。

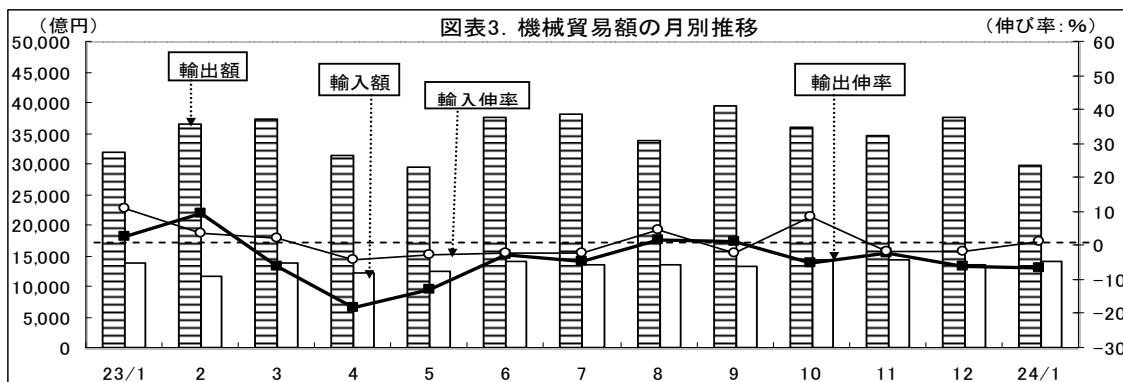
月別では、平成 23 年 3 月の東日本大震災以降 7 月まで一貫して伸び率を低下させたが、8、9 月に一旦回復、しかし、超円高の定着や欧州信用不安、タイ中部を中心に発生した洪水による同国向けの大幅減少などから、10～12 月には再びマイナスとなった。

・全商品の 24%を占める機械輸入額は、0.9%増の 16 兆 808 億円と微増ながら 2 年連続のプラスとなり、平成 19 年比では、80%の水準である。

・この結果、機械貿易収支は約 26 兆円の黒字となっている。



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
対ドルレート(円)	116.4	108.3	109.6	116.2	118	104.3	93.5	88.1	80.0
円高(+)(%)	+7.3	+7.0	-1.2	-6.0	-1.5	+11.6	+10.4	+5.8	+9.2



(2) 地域別輸出動向～中国を除く全地域向けがマイナスへ

・機械輸出を地域的にみると、①機械輸出の約28%を占め、最大輸出地域であるNIES/ASEAN向けは、香港(16.1%減)、台湾(14.5%減)、フィリピン(8.5%減)、シンガポール(7.4%減)、韓国(6.7%減)等向けが軒並みマイナスとなり、機種別では、自動車、半導体製造装置等産業機械、電子デバイス等が減少し、**8.5%減**となった。②約20%の北米向けは、同国向け輸出額の約半分を占める自動車(11.3%減)が2ケタの大幅減となり**3.6%減**となった。③約21%の**その他地域向け**は、中近東(15.6%減)、中南米(9.2%減)、大洋州(8.8%減)向けが大幅減となり**3.5%減**となった。④約13%を占める**EU向け**は、自動車(5.7%減)、民生用電子機械(14.9%減)、電子部品(18%減)等がマイナスとなり**0.2%減**となった。

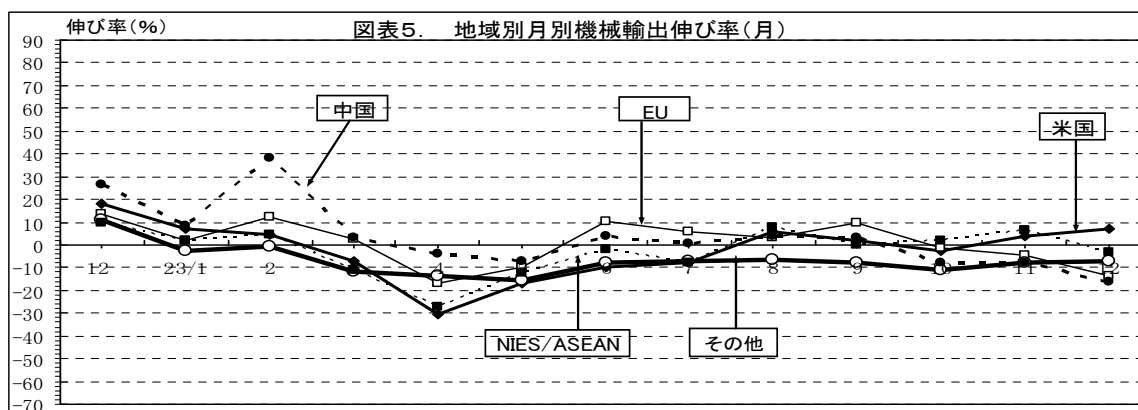
他方、19%を占める**中国向け**は、半導体製造装置等産業機械(7.1%増)、工作機械(31.1%増)、光学機械(13.9%増)、ベアリング(6.5%増)等が増加し、**0.4%増**となり、5地域中、唯一のプラス成長となった。

各地域をリーマンショック以前の平成19年と比較すると、中国が水準を超え、NIES/ASEAN、その他地域向けが70%台、北米、EU向けが50～60%台の水準である。

図表4. 地域別機械輸出動向(年) (単位:億円)

	平成21年			平成22年			平成23年			対H19 年比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	345,411	▲36.5	78.5	440,101	27.4	100.0	423,110	▲3.9	100.0	0.73
北米	73,178	▲40.8	16.6	87,435	19.7	19.9	84,158	▲3.6	19.9	0.61
EU	47,709	▲44.5	10.8	54,521	14.3	12.4	54,388	▲0.2	12.9	0.57
NIES/ASEAN	96,499	▲30.3	21.9	128,113	32.7	29.1	117,224	▲8.5	27.7	0.79
中国	58,246	▲19.9	13.2	80,292	37.9	18.2	80,623	0.4	19.1	1.10
その他	69,780	▲43.4	15.9	89,740	28.4	20.4	86,717	▲3.5	20.5	0.70

は、前年比10%以上の増加



(3) 業種別輸出動向～19業種中10業種で前年比マイナス、自動車、電子デバイスが大幅減少

・平成23年は全19業種のうち10業種がマイナスとなった。特に、全体の30%を占める自動車は8.2%減と昨年のプラス(34.1%増)から大きく後退し、機械輸出の減少に大きく影響した。また、電子デバイス(14.3%減)、デジカメ等民生用電子機械(15.2%減)、通信機械(13.8%減)、パソコン等電子

計算機(22.4%減)は2ケタ減の大幅減となった。他方、工作機械(38.8%増)、建設機械(15.7%増)、陸用内燃機(13.7%増)、ベアリング(11.3%増)、産業車両(10.1%増)、は2ケタ増となった。

これをリーマンショック以前の平成19年と比べると、リーマンショック以前の水準を超えたのはベアリング、医療機械、光学機械、船舶の5機種で、民生用電子機械、電子計算機、通信機械は、30～60%台である。

図表6. 上位19業種の輸出額の動き(年)

(単位:億円)

平成21年				平成22年				平成23年				対H19 年比
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	103,147	▲45.0	29.9	自動車	138,278	34.1	31.4	自動車	126,882	▲8.2	30.0	0.64
産業機械	57,605	▲33.9	16.7	産業機械	76,979	33.6	17.5	産業機械	78,247	1.7	18.5	0.88
電子デバイス	33,865	▲26.0	9.8	電子デバイス	41,090	21.3	9.3	電子デバイス	35,250	▲14.3	8.3	0.67
船舶	22,524	▲5.2	6.5	船舶	25,415	12.3	5.8	軽電気機械	23,466	▲3.4	5.5	0.76
民生用電子機械	22,245	▲38.9	6.4	軽電気機械	24,305	28.4	5.5	船舶	23,439	▲7.8	5.5	1.03
軽電気機械	18,934	▲31.9	5.5	民生用電子機械	23,747	6.8	5.4	重電気機械	21,215	▲1.2	5.0	0.84
重電気機械	17,755	▲27.2	5.1	重電気機械	21,512	21.2	4.9	民生用電子機械	20,139	▲15.2	4.8	0.49
軽機械	11,190	▲27.8	3.2	光学機械	14,510	34.2	3.3	光学機械	15,445	6.5	3.7	1.05
光学機械	10,812	▲23.5	3.1	軽機械	14,321	28.0	3.3	軽機械	15,097	5.4	3.6	0.71
通信機械	7,506	▲24.4	2.2	建設機械	11,778	76.9	2.7	建設機械	13,632	15.7	3.2	0.82
電子計算機	7,027	▲37.4	2.0	電子計算機	6,847	▲2.6	1.6	工作機械	9,452	38.8	2.2	0.97
建設機械	6,661	▲60.9	1.9	工作機械	6,809	87.7	1.5	通信機械	5,606	▲13.8	1.3	0.50
医療機械	3,667	▲20.6	1.1	通信機械	6,502	▲13.5	1.5	電子計算機	5,315	▲22.4	1.3	0.37
工作機械	3,628	▲62.1	1.1	ベアリング	4,191	50.7	1.0	陸用内燃機	4,695	13.7	1.1	1.00
ベアリング	2,781	▲33.5	0.8	陸用内燃機	4,131	62.2	0.9	ベアリング	4,663	11.3	1.1	1.18
陸用内燃機	2,547	▲44.3	0.7	医療機械	3,868	5.5	0.9	医療機械	3,710	▲4.0	0.9	1.13
農業機械	1,638	▲35.0	0.5	繊維機械	2,226	92.9	0.5	繊維機械	2,442	9.7	0.6	0.78
繊維機械	1,154	▲50.8	0.3	農業機械	1,896	15.7	0.4	農業機械	1,717	▲9.5	0.4	0.73
産業車両	932	▲64.3	0.3	産業車両	1,408	51.1	0.3	産業車両	1,550	10.1	0.4	0.63
19業種合計	335,618		97.2	19業種合計	429,813		97.7	19業種合計	411,962		97.4	0.73

前年比10%以上の増加

(4) 機械輸入動向～携帯電話、乗用車が大幅増、電子デバイス、航空機が大幅減

- 平成23年の機械輸入額は、0.9%増と昨年(18.3%増)から伸び率を大幅に鈍化させたものの2年連続のプラスとなった。地域別では、機械輸入額の42%を占める中国からの輸入が6.4%増、14%のEUからは9.3%増となった。一方、マイナスとなったのは、米国(8.5%減)、NIES/ASEAN(5.1%減)、その他地域(1.6%減)であった。
- 機種別では、携帯電話(65.4%増)、乗用車(24.6%増)、民生用電気機器(11.3%増)がともに2ケタ増となった。一方、マイナスとなったのは航空機(21.1%減)、輸入二大機種の電子デバイス(17.9%減)及び電子計算機(3.2%減)、民生用電子部品(17.8%減)などであった。
- なお、輸入額が輸出額を上回ったのは、電子計算機、携帯電話、テレビ、白物家電、録画・再生機器、医療機器、時計、ラジオ、写真機である。

図表7. 機械輸入額上位13機種(年)

(単位:億円)

平成21年				平成22年				平成23年			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	17,387	▲29.1	12.9	電子デバイス	21,184	21.8	13.3	電子計算機	19,377	▲3.2	12.0
電子計算機	16,813	▲24.9	12.5	電子計算機	20,003	18.9	12.6	電子デバイス	17,406	▲17.9	10.8
重電気機械	6,391	▲33.3	4.7	重電気機械	7,375	15.3	4.6	重電気機械	7,884	6.7	4.9
自動車部分品	5,384	▲46.9	4.0	自動車部分品	7,328	35.7	4.6	携帯電話	7,396	65.4	4.6
民生用電気機器	5,248	▲7.6	3.9	TV	5,926	109.5	3.7	自動車部分品	7,071	▲3.9	4.4
医療機器	4,633	▲7.6	3.4	民生用電気機器	5,735	9.2	3.6	乗用車	7,019	24.6	4.4
航空機	4,477	▲23.7	3.3	乗用車	5,633	31.9	3.5	民生用電気機器	6,385	11.3	4.0
乗用車	4,270	▲39.2	3.2	医療機器	5,142	10.9	3.2	TV	5,504	▲7.1	3.4
民生用電子部品	3,585	▲40.8	2.7	携帯電話	4,472	55.5	2.8	医療機器	5,230	1.7	3.3
光学機械	3,322	▲41.1	2.5	民生用電子部品	4,303	20.0	2.7	光学機械	3,971	2.2	2.5
携帯電話	2,873	22.6	2.1	光学機械	3,881	16.7	2.4	民生用電子部品	3,538	▲17.8	2.2
TV	2,829	21.0	2.1	航空機	3,670	▲18.0	2.3	分析試験検査機	3,201	1.0	2.0
分析試験検査機	2,630	▲29.9	2.0	分析試験検査機	3,168	20.4	2.0	航空機	2,895	▲21.1	1.8
13機種合計	79,842		59.3	13機種合計	97,820		61.4	13機種合計	96,877		60.2

前年比10%以上の増加。 民生用電気機器:白物家電